

# 2012年度 学生プロジェクト年間活動報告書【3月号】



プロジェクト名称 【参加人数: 26名】



<http://candlelightshibaura.businesscatalyst.com/index.html>

活動概要・目的 【活動期間: 2012年6月1日～2013年3月31日】

現代の人は仕事などで忙しい毎日を送っています。そこで、夏至と冬至の夜の2時間だけでんきを消して人々にスローな夜を提供しようと活動を行っています。さらに一昨年は東日本大震災が起これ、日本のエネルギー問題が露わになりました。これを期に人々にでんきの明るさだけに頼らず、ろうそくの明かりの大切さを知り、省エネやエコについて考えを増やしてほしいと願っています。今年は、認知度向上に向け、イベントを多く行い、地域住民、本学学生に知って頂くことを目的として活動を行います。夏至には表参道で行われるcandle night@OMOTESANDOに参加し、冬至には芝浦工業大学大宮キャンパス・豊洲キャンパスで、また、外部ではatre川崎でcandle nightを行います。

## 年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
3月	実行委員ミーティング	LPA	設置場所決定、テーマ決定
	デザインミーティング	LPA	1つ目の案提出、エスキース
	学内ミーティング	大宮校舎	役割分担(インスタレーション、行灯)
			インスタレーション案検討
4月	実行委員ミーティング	LPA	10周年の為テーマ変更、チャリティー決定
	デザインミーティング	LPA	2つ目の案提出、エスキース
	学内ミーティング	大宮校舎	インスタレーション
			メンバー勧誘
	設置店舗とのミーティング	日本看護協会	挨拶、デザイン案ミーティング
5月	実行委員ミーティング	LPA	デザイン変更、役割分担(行灯)
	デザインミーティング	LPA	インスタレーション、行灯案エスキース
	学内ミーティング	大宮校舎	インスタレーション、行灯案検討



## 年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
5月		大宮校舎	灯笼(インスタレーション)大量生産
		大宮校舎	インスタレーション、行灯案決定
	設置店舗とのミーティング	日本看護協会	デザイン案ミーティング
			当日使用挨拶
6月	実行委員ミーティング	LPA	最終確認
	デザインミーティング	LPA	最終確認
	学内ミーティング	大宮校舎	インスタレーション、行灯作成
	設置店舗とのミーティング	日本看護協会	最終確認
	本番	表参道	チャリティー活動、担当箇所での作業
	片づけ	表参道	清掃、備品回収
8月	学内ミーティング	大宮校舎	冬至の活動についての話し合い、役割分担
	キャンドル教室	大宮校舎	作成するキャンドルを決定
	キャンドル教室	大宮校舎	作業の手順を作成、本番
9月	学内ミーティング	大宮校舎	キャンドル教室(春野小)についての話し合い
	キャンドル教室	大宮校舎	作成するキャンドルを決定
	キャンドル教室	春野小	作業の手順を作成、本番
10月	学内ミーティング	大宮校舎	作品アイデア発表、試作品の作成、試作品の確認
	学内ミーティング	大宮校舎	企画書作成、設置場所決定、実行委員決定
	作業	大宮校舎	インスタレーション、カフェ、チャリティーキャンドル作成



## 年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
	作業	大宮校舎	インスタレーション、教室、チャリティー案作成、エスキース
	広報	大宮校舎	ポスター、芝浦祭チラシ、ロゴ作成
	協力	大宮校舎	芝浦祭夜店企画に参加
	芝浦祭実行委員への説明	大宮校舎	備品の貸し出し、消灯願ひ、企画書の提出
	作業	大宮校舎	インスタレーション、教室、チャリティー案完成、本制作
11月	本番(芝浦祭)	豊洲校舎	インスタレーション、キャンドル教室、チャリティー活動
	作業	大宮校舎	インスタレーション、キャンドル教室でのキャンドル作成
	キャンドル教室	春野小	作業の手順を作成、本番
	学内ミーティング	大宮校舎	作品アイデア発表、試作品の作成、試作品の確認
	芝浦祭実行委員への説明	大宮校舎	備品の貸し出し、消灯願ひ、企画書の提出
	広報	大宮校舎	ポスター作成、キャンドルナイトを呼びかけるチラシ SNSによる告知、HPのリニューアル
12月	学内ミーティング	大宮校舎	作品アイデア発表、試作品の作成、試作品の確認
			役割分担(インスタレーション、カフェ)
	打ち合わせ		atre川崎に提出する企画書の作成、備品拝借個数算定
	広報	大宮校舎	キャンドルナイトを呼びかけるSNSによる告知 HPによる告知、atre川崎HPによる告知
	本番(大宮校舎)	大宮校舎	atre川崎キャンドルナイトのスタディ
	学内ミーティング	大宮校舎	インスタレーション配置計画
	作業	大宮校舎	作品の最終確認
	本番(atre川崎)	atre川崎	インスタレーション、カフェ活動



## プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

## @OMOTESANDO - Eco Avenue 2012

行灯審査会にて、芝浦が出展した「季節時計」が監修者である面出薫氏からとても高い評価をもらい、面出薫賞を頂いた。また、インスタレーションでは、通過していく人々からお褒めの言葉を頂くことができ、キャンドルナイトの本来の目的である「スローな夜」を提供出来たのではないかと感じた。

## @toyosu campus

初となる芝浦祭でのコラボレーション企画の活動となった。ワークショップでは、キャンドル教室を行い多くの本学学生・関係者、地域の方々に直に触れて感じてもらい、ろうそくの良さや私たちの活動を知って頂けたと感じる。また、チャリティーキャンドルによるチャリティー活動での収益金41,464円を全額赤十字社へ寄付した。インスタレーションでは、芝浦祭の夜店企画を盛り上げるため夜の豊洲キャンパスを彩った。夜にもかかわらず、小さな子供たちが作品の周りを駆け巡る姿が印象的で、多くの方々にスローな時間を過ごして頂けたと感じた。

## @春野小学校キャンドル教室

地域交流の一環として春野小学校の土曜日チャレンジ教室の時間を使用させて頂き、キャンドル教室を行った。子供たちにも親御さんにもろうそくの温かみや身近さを知って頂き、家庭でも利用して頂けたらと考え、紙コップ等で作成出来るものとした。また、日時が12月であるためクリスマスツリーキャンドルの作成と、その土台となるリースを作成し、安全面に配慮し先生にも協力して頂き、子供たちも楽しそうにキャンドルを作成していた。

## @omiya campus

大宮校舎周辺の地域住民、本学学生に認知して頂くため活動を行った。アカペラサークルとのコラボレーション企画を行い、小空間でのインスタレーションを行い、視覚・聴覚でスローな夜を感じてもらえたのではないかと感じた。去年に引き続き恒例行事として見学者からは「楽しんでいた」というお声を頂いた。

## @atre川崎

アトレ川崎様から豊洲キャンパスでのcandle nightを高く評価して頂き、12月23日にアトレ川崎にてキャンドルナイトを行った。アトレのa+project企画で企業との初共同企画を我々が主体で商業施設の屋上を彩った。クリスマス前ということもあり、20代から30代のカップルや親子連れ約300人に見て特別なキャンドルによるクリスマスを感じて頂いたと感じた。芝浦工業大学学生プロジェクト「candle night」として活動の幅が広がり、私たちにとって良い経験をさせて頂いた機会であった。

## 受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

@OMOTESANDO  
- Eco Avenue 2012

## ■新聞掲載

「シブヤ経済新聞」2012年6月19日  
「朝日新聞 朝刊」2012年6月8日

## ■雑誌掲載

「東京トレンドランキング」2012年5月20日  
「POCO21 No122」2012年7月2日

## ■WEB / 携帯サイト

「Let's Enjoy TOKYO」2012年6月8日  
「表参道 Online」2012年6月10日  
「シブヤ経済新聞.com」2012年6月19日

「ラジオ NIKKEI WEB」2012年6月24日  
「New York Times WEB」2012年6月22日  
「Wall Street Journal WEB」2012年6月25日

## ■ラジオ出演

「Shibuya FM」2012年6月21日

## @toyosu campus

## ■雑誌掲載

芝浦工業大学広報誌「S.I.T.BULLETIN」2012年11月号  
芝浦工業大学「芝浦祭活動冊子」

## @omiya campus

## ■WEB / 携帯サイト

「くりんくらん HP ニュース」2012年12月9日

## @atre川崎

## ■WEB / 携帯サイト

「atre川崎 HP イベント情報 a+(アトレ)PROJECT」2012年12月17日  
「atre川崎 アトレのオフィシャルブログ」2012年12月17日



## プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

### @OMOTESANDO - Eco Avenue 2012

今年度表参道で行われた夏至のキャンドルナイトは「和」というテーマでオリジナル行灯とインスタレーションを制作し展示した。オリジナル行灯では、各メンバーが作った作品を手に持ち表参道を歩き回った。そして、一年生の作品の一つが面出薫賞という審査員特別賞をいただいた。芝浦の技術力やセンスが他大学に劣らないことを実感することができた。

インスタレーションでは、芝浦工業大学大宮キャンパスで捨てられている割り箸を利用した灯籠を作品のベースとし、それらを表参道の榎並木にちなんでケヤキの木に見えるよう並べた。今回はイベント参加型にするため、来街者にはクリアファイルへ「夢」を書いてもらい、それらをケヤキの葉の部分の灯籠に入れメッセージツリーを彩った。

結果、イベント参加者を大いに盛り上げるとともに、キャンドルナイトの目的である「スローな夜」を提供できた。

### @toyosu campus

今年度初めて芝浦祭に2日間参加した。ワークショップとインスタレーションの大きく二つの活動を行った。

ワークショップでは、蝋燭を身近に感じてもらうことを目標としたキャンドル教室を行った。ワークショップ参加者に実際に蝋燭を使って作品を作ってもらい、蝋燭を使ったものづくりの楽しい面や危ない面を学んでもらった。子供の参加者が目立ったが、学生や高齢者の参加者もみられ、蝋燭の関心が広がっていると実感でき、約200人の参加があった。

インスタレーションでは、蝋燭のデザイン的な美しさを知ってもらうことを目標とした。また、夜店とのコラボレーション企画ということで、蝋燭の光に包まれながら夜店を楽しめるように作品の配置を考え、多くの来街者にゆっくりとした時間を過ごして頂けた。実際に豊洲校舎という大空間で空間的にボリュームが出せるか不安だったが、使用した三角柱は130本以上と準備がしっかり出来たため予想以上に良かった。今回は高さのある作品が多く、強風の影響を受けながらの作業は困難だったが、メンバーの協力で無事乗り切ることができ、2日間で約400人と多くの方々にスローな時間を過ごして頂けたと感じた。

### @春野小キャンドル教室

放課後1時間程時間を頂いて9月と12月の2回、子供達に蝋燭の温かみや身近さを感じてもらうことを目的とした。実際に蝋を溶かして作る作業は子供には危険なので、9月は溶かさずに作ることでできるハニーカムシートを使用し、安全面に配慮し、12月では時期に合わせ、家庭にある物でも作成出来るよう紙コップ等でクリスマスツリーキャンドルと土台となるリースの作成を行い、作り方用紙を作成し配布した。

各メンバーが各テーブル毎に子供達に見せながら作ってあげることで、呑み込みが早くスムーズに作業を進めることができた。また作品が完成した後、実際に点けた時の子供たちの笑顔を見て、蝋燭の身近さを実感してもらえたと感じた。

### @omiya campus

去年に引き続き、大宮キャンパスでキャンドルナイトの活動を行った。二号館ピロティからバス停まで電気を消灯して頂き、蝋燭のエコ的な部分とデザイン的な部分を楽しんでもらった。アカペラサークルとの協力でミニコンサートを催し、聴覚的な演出で、またキャンドルによる視覚的な演出で大宮校舎の学生を大いに楽しませた。去年の反省からスケールとボリュームを意識したため、密度の濃い演出が実現できた。

また去年からの恒例行事として大宮でのcandle nightが定着してきた。今はまだ帰宅途中の学生が主になっているが、これからは大学付近の地域住民を招待できるような活動を行っていきたい。

### @atre川崎

芝浦祭での活動が高く評価され、atre川崎さんからオファーを頂き、atre川崎5F屋上の演出を任された。omiya campusでの作品をブラッシュアップさせ、今年度最高の演出が実現した。夏至で好評だった参加型アイデアを取り入れ、クリスマスに因んだ「願い」を綴ってもらいクリスマスツリーとして飾った。若いカップルを中心にヤングファミリーや学生などに大好評だった。

初めての場所で知名度も高くないにも関わらず400人を超える人々に見てもらえたことは、我々、candle nightの力が付いてきた確かな証明となった。



学生プロジェクトとして2年目の今年は昨年の経験を活かし、“学内での認知度向上”を目標に掲げました。8月の時点で目標として掲げた“学内での認知度向上”はcandle night@豊洲キャンパスにおいて達成したと思われ、さらに学内のみならず地域住民や学外生からも賞賛のお声を頂き、更なる認知度向上が図れたと感じます。

2012年最後に行ったatre川崎でのキャンドルナイトでは、芝浦工業大学candle night初となる企業とのコラボレーションであったため、私達にとって良い経験となり、自信へとつながりました。

今後の展望として、もう一度原点に戻り、エコ活動（現段階では廃油を活用したキャンドルや環境強化週間へのコラボレーション）の推進を行い、関わっていきたいと考えております。また、新たに私たちが主体ではない、サポート役による他団体とのコラボレーション企画も行いたいと考えています。

以上を踏まえた上で私たちは、

” エコキャンドルの推進  
キャンドル本来の火の良さを知ってもらう  
candle nightの客体的なコラボレーション ”

を掲げます。

今後の活動内容としては、夏至・冬至のcandle night（主にインスタレーション）、キャンドル教室（キャンドルを作成してもらう）を基に行います。認知度向上に向けて広報活動にもより力を入れ、積極的に他団体とコラボレーションし、キャンドルにとってエコとは何か今一度振り返り、皆さんと共に楽しさと感動を伝えられるよう誠心誠意努力していきたいと思います。

今後ともcandle nightを宜しくお願い致します。

## プロジェクト活動写真

@OMOTESANDO - Eco Avenue 2012



# 2012年度 学生プロジェクト年間活動報告書【3月号】



@toyosu campus



@春野小学校キャンドル教室



@omiya campus



@atre川崎

